

浅井かわら版

第 56 号
令和 5 年 3 月
浅井報徳地域振興会
総務広報部会

§ 民生委員が改選されました §

去る 12 月 1 日より任期 3 年間の民生委員・児童委員が全国一斉改選され、浅井地区でも次の 7 名の皆さんに厚生労働大臣及び富山県知事より委嘱を受け就任されました。

- ・広上・西広上自治会 広田恭子（新任）
- ・上条・上条団地自治会 宮村健壯
- ・島・下条・堀内自治会 荒井啓治（新任）
- ・土合自治会 寺井祐證
- ・土合北部自治会 竹内春樹
- ・ほたる野自治会 長谷秀信
- ・主任児童委員 夏野仁美

民生委員・児童委員の皆さんには、数々の研修を受けて地域福祉の専門家となり、それぞれの担当地域の一人暮らし高齢者等を含め、地域で生活する誰もが安心して生活できるよう、暮らしを見守るボランティアの方々です。

浅井地区社会福祉協議会の中では、民生委員の皆さんに理事として、地区社協が取り組む地域福祉活動を推進するとともに、暮らしに悩み事がある場合には、相談事を受け付ける役目も果たされるので、各民生委員に問い合わせみてください。

§ ちょこっとサポーター打合せ会 §

浅井支え合い協議会は、3 月 9 日午前 10 時より「ちょこっとサポーター打合せ会」を開き、令和 4 年度の活動を報告するとともに令和 5 年度に向けて意見交換を行いました。



先ず、令和 4 年度の活動を写真で振り返り、次に浅井地区の支え合い活動に係わる人達（140 名）から回答を得たアンケート結果を発表しました。

それによれば、各地区とも 70 代前半を中心とする高齢者の皆さんには、各地区のサロンや地区の 100 歳体操及び浅井ふれあい館に参加しており、それらは楽しかった、との回答が寄せられました。

また、ちょこっとサポーターとして、参加者の見守りや話相手として活動のお手伝いされた皆さんからのアンケートも集計・報告され、それらを踏まえて、令和 5 年度も各地区の 100 歳体操グループへの出前を継続することとなりました。

健康寿命を伸ばし、いつまでも若々しく過ごすためには、①浅井ふれあい館や各自治会の 100 歳体操グループに参加し、②体操の後にゲームを楽しみ、③参加者と言葉を交わすことが大変有効であることが判明しています。

浅井支え合い協議会は、参加をためらっている人達のためにも、4 月に浅井ふれあい館の年間行事カレンダーを全戸配布し、参加者が更に増えるよう周知を図って行きます。

§ 忠魂碑が改修されました §

浅井遺族会は、戦没者を慰霊する石碑として昭和 39 年に旧浅井小学校前に建立された「忠忠之碑」が長年の間風雪に晒され、台座の一部が陥没していたので改修工事を施しました。



「今日の平和と繁栄は、戦禍に赴き散華された方々の尊い犠牲の上に築かれたことに思いを致し、二度とこのような惨禍を繰り返さないために、次世代に語り伝えていかねばなりません。今回改修した石碑を建立した思いが失われることなく、末長く地域に根付くことを願っています」と浅井遺族会の種村喜男会長は喜びを語りました。

各部の活動の紹介

【安心安全部】

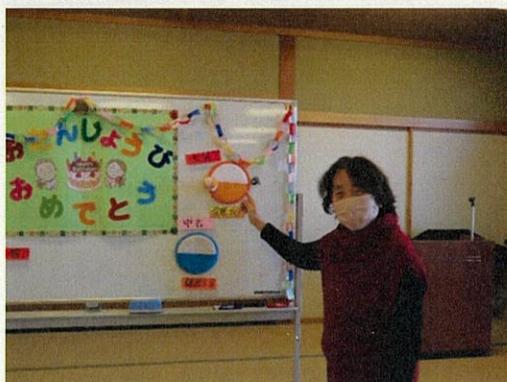
出初式 1月 7 日



射水消防団浅井分団は1月7日、市の消防団全体の出初式の後に浅井コミュニティセンター前に集結し、市長の訓示等を受けて一斉放水の美技を披露しました。

【健康福祉部】

ふれあい館 誕生会 1月 12 日



浅井ふれあい館は1月12日、12月と1月度の誕生会を開き、イベントとして開運的当てゲームを行い、マジックテープ付ボールを投げて運勢を占いました。

【健康福祉部】

浅井地区社協 定例会 1月 17 日



浅井地区社協は1月17日定例会を開き、真生会の刀塚(なたづか)先生を講師に招き「いつまでも若々しくある方法」についてお話を伺いました。

【健康福祉部】

ふれあい館 節分の集い 2月 2 日



浅井ふれあい館は2月2日、イベントとして「節分まめまき会」を行い、大豆入りお手玉を鬼の絵にぶつけたり、福笑いの口に投入して楽しみました。

【生活環境部】

PTA資源回収 3月 2 日



PTAは今年度最後の資源回収を行い、住民の皆さんはそれぞれ自宅に保管していたビール缶や段ボール・新聞紙等を浅井体育館前に持ち込みました。

【安心安全部】

浅井コミセン消防訓練 3月 8 日



浅井コミュニティセンターは、集会所として年に2回の消防訓練が義務付けられており、3月8日、年度末を目前にして2回目の消防訓練を実施しました。

活動報告

地域を挙げて防災について学ぶ

三世代交流のつどい「防災教室」

2023.3.18

講 師:射水市総務課防災危機管理班 宮袋裕輔様 中村友洋様

防災士 秋元節夫様

食生活改善推進員の皆様

ヘルスボランティアの皆様

協 力:射水市消防署 射水市消防団浅井分団

参加者:80名

三世代交流のつどい「防災教室」を浅井体育館で開催したところ、地域の子ども達から大人まで 80 名の参加があり、避難所生活の一端を体験しました。

今回は、住宅や道路も崩れ、電気や上下水道も使えないような巨大災害を想定して、早めに避難所に行き、そこで最低限の衣食住を確保する、というコンセプトで企画しました。

初めに、市の防災危機管理班の皆さんによる出前講座「災害に備えて」を聞き、避難所での宿泊に必要なダンボールベッドと間仕切りの組立を体験しました。

次に、防災士の方から、浅井は過去にあった水害の歴史を踏まえ、災害に備えるべきとの話があり、その一端として段ボールトイレの組立を体験しました。

食生活改善推進員の方からは、避難所だけではなく、自宅でも食品流通が止まった場合に備えて、長期保存可能な食材を備蓄するようアドバイスがありました。

ヘルスボランティアの方からは、避難所生活を健康で快適に過ごすためのポイントが説明され、簡単なストレッチ体操の実技指導を受けた後で体を動かしました。

最後に、組み立てたダンボールベッドに寝たりトイレの汚物を処理する体験や、火災が発生した場合に駆けつける消防署のはしご車に乗り、放水車で放水する体験も行いました。





浅井コミュニティセンター職員一同

今年度たくさんのご参加
ありがとうございました！